

少子化問題

Q 少子化対策は十分か

A 総合戦略等を策定し取組んでいる

竹下 総合戦略の本年度「出生率1.75、出生数193人以上」の目標達成見込みは。

町長 出生数については、9月現在、160名程度と見込んでいる。

竹下 少子化対策が重要かつ困難ならば、町として可能な施策



竹下 英治 議員

は全て実施すべき。以前、学校給食の無料化は、自身の政治理念から実施しない旨を発言されたが、今も変わりはないか。
町長 その考えは、変わっていない。

Q 中期的な河川整備の考えを問う

A 事業促進と計画の延伸を求める

災害危機管理

竹下 本年の七月も、井堰付近での溢水が目立った。今後とも降雨量の増大が見込まれ、片や、河川の拡幅等は不可能な以上、中期的には、井堰関係の施策を重視すべきと考える。

町長 従来から整備した施策に加え、県防災システムへの情報入力やラインの活用を図りたい。
竹下 周知手段が、放送、メール、電話、ファックス等々、かえって煩雑になっていないか。多少、非効率な整備となっても、例えば、屋内はラジオ、屋外は放送、町外でも届くメールに整理してはどうか。
町長 更なる構築を考えている。

竹下 防災情報の周知手段の整備状況は、順当・妥当か。



広川の溢水

ICTツール

Q LINEの公式アカウントの開設時期は

A 4月運用開始予定



山下 茂 議員

山下 コロナの第3波が懸念される今、住民への正確な情報提供を進める為にもLINEの公式アカウントの開設が望まれるがどうなっているか。
町長 9月議会にて承認頂き、令和3年4月から運用開始予定。日々の情報発信の手段になる事に加え、大雨や台風、災害時における迅速な情報提供の手段として期待できることから、多くの皆様に利用して頂ける様広報ひろかわやホームページなどにQRコードを掲載する。

自治体や省庁の公式アカウント

自治体や省庁のLINE公式アカウントから最新の情報を知ることができます。

子育て支援

Q 保育施設従事者に慰労金など検討しているか

A 今回補正予算にて保育従事者の慰労金を予算計上している

山下 保育施設等の充実は子育てしやすい町として広川町の重点課題だと思う。保育士不足問題もあるが、コロナ禍の中、対策は考えているか。

町長 保育従事者の慰労金という形で、町内の6カ所の保育所、幼稚園、学童の指導員さん等の常勤及びパートの方を対象に予算計上をしている。

